

公益財団法人 浜松市文化振興財団

平成 29 年度 事業計画
平成 29 年度 収支予算

平成29年度 事業計画

【概要】

1. 芸術文化振興への主な取り組み

■ 浜松版アーツカウンシルの設置への協力

浜松市が発足を目指すアーツカウンシル（各種芸術文化事業の助成・中間支援、調査研究を目的とした専門機関）の平成30年度事業開始に向けて協力してまいります。

■ 事業の再構築と25周年記念事業の準備

財団設立から23年が経過したことをふまえ、従来の事業構成の見直しと再構築を図ってまいります。新規企画「アクト・プレミアム・シリーズ」の開始や、「ハノーバー市交流事業」等の浜松市のすすめる創造都市事業関連事業への協力のほか、継続してきた企画の内容の見直し等、市と市民の求める文化事業の変化に適切に対応してまいります。

また、2019年が財団設立25周年及びアクトシティ浜松開館25周年到来年にあたることから、これまでの事業を総括し、次の四半世紀に向けた記念事業の準備に着手します。このため、収支の黒字化を図り、準備資金の積み立てを行います。

2. 所管施設の運営及びソフト事業の展開

■ 施設機能の拡充

アクトシティ浜松では、前年度より準備をすすめてきた「ワンストップサービス」の運用を開始し、利用者サービスの拡充により更なるコンベンション誘致を図ります。

■ 浜松市天竜壬生ホールの運営開始

浜松市天竜壬生ホールの指定管理運営を受託しました。（平成29年度から平成33年度まで）指定事業のほか自主事業も計画し、本施設を拠点とした北遠地域の文化振興に邁進いたします。

■ 浜松科学館リニューアル構想への対応

浜松市がすすめる浜松科学館リニューアル構想（平成31年4月リニューアルオープン予定）により指定管理期間が短縮されることから、財団の今後の科学館運営方針を検討します。特に、浜松市から申し入れのあったリニューアル工事に伴う休館による指定管理協定の中途解除について、市担当課と協議をすすめてまいります。

3. 法人経営計画

■ 人材育成プランの策定

財団運営を担う人材の中長期的な育成及び確保を図るため、人材育成プランを策定します。具体的には、正規職員の採用方針を規定するほか、改正労働契約法の平成30年4月適用開始を念頭においた有期雇用職員（契約職員）の無期転換制度を整備します。また、階級別・分野別の研修制度を新設し、職員の能力向上を図ります。

■ 長時間労働の抑制

職員の健康保持及び業務効率を向上させるため、業務内容や実施方法の見直しをすすめ、時間外労働の削減を図ります。このため厚生労働省が新たに策定するガイドラインの動向を踏まえながら、月間及び年間の時間外労働時間の上限を見直してまいります。

I 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

1 芸術文化公演の企画、運営及び提供

平成29年度は、新たに世界的な名演奏家たちによるコンサートシリーズ「プレミアムシリーズ」を開始します。過去の浜松国際ピアノコンクールの優勝者から、ラファウ・ブレハッチ、チョ・ソンジンの2人を迎え、平成30年度に第10回の節目となるコンクールの記念事業を兼ねたりサイタルとして開催します。

また、第10回コンクール審査委員長に就任が決定している小川典子氏がドレスデン・フィルとの協演で登場します。昨年に引き続き、絶大な人気を誇るピアニスト辻井伸行氏とロンドン・フィルとの協演、浜松地域で当財団のみが唯一行っているオペラ公演ではイタリアの名門、パレルモ・マッシモ劇場の「椿姫」など、世界一流の音楽をお届けしてまいります。

その他、伝統芸能事業としては、毎年恒例となっている松竹大歌舞伎・能・狂言事業に加え、3回目の開催となる野村萬斎氏監修による「アクトシティ能・狂言」を開催します。照明や映像を使ったアクトシティオリジナルプログラムでの公演となります。定番となっているニューアーティストシリーズやワンコインコンサートを開催し、幅広い層に親しんでいただけるコンサートも続けてまいります。

以上を踏まえ、平成29年度事業活動については、前年に引き続き下記の点を重点として事業活動を実施してまいります。

- ①世界的に著名な演奏家・演目による一流の芸術文化の提供。
- ②気軽に参加でき、心豊かな暮らしを提供する芸術文化の実施。
- ③次世代を担う若年層のための音楽・舞台芸術公演の実施。
- ④歌舞伎などの伝統文化の鑑賞機会の拡充。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ（クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画）			
No.108 ダニエル・シュー（ピアノ）	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/14	2015年第9回浜松国際ピアノコンクール第3位。 2016年ギルモア・ヤング・アーティスト。
No.109 青木 裕汰(トロンボーン) 陶山 咲希(ファゴット) 儀賀 詩織(サクソフォン)		7/2	2016年第22回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル成績優秀者。
No.110 奥田 弦（ジャズピアノ）		9/24	15歳の天才ジャズ・ピアニスト。
No.111 辻 彩奈（ヴァイオリン）		12/10	2016年第15回モントリオール国際音楽コンクール第1位。
No.112 岡本 拓也（ギター）		2/25	2016年第16回オーストリア・ルスト国際ギターコンクール第2位。
アクト・ワンコインコンサート（平日ランチタイムを活用した、一流の演奏家による1時間程の500円ミニコンサート。クラシックの垣根を下げ、音楽人口を増やすことと、昼時の街中の活性化をめざす。夏季は子ども向けコンサートも実施。）			
金子 三勇士(ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	6/8	日本生まれ、ハンガリー育ちの若手注目ピアニスト。
奥村 愛(ヴァイオリン)		8/17	抜群の知名度と人気を誇るヴァイオリニスト。
鈴木 大介(ギター)		10/19	世界に誇る日本を代表するギタリスト。
高木 綾子（フルート）		12/7	人気・実力ともにトップクラスのフルート奏者。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開。)			
Vol.1 諏訪内晶子(ヴァイオリン) ボリス・ベレゾフスキー (ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	6/27	ヴァイオリニストとして円熟味を増してきた今や世界で活躍する諏訪内晶子、驚異的なテクニックと叙情性を兼ね備えたヴィルトーゾ・ピアニスト ベレゾフスキー。1990年にチャイコフスキー国際コンクール各部門において優勝を果たした諏訪内とベレゾフスキーの夢の共演。
Vol.2 ラファウ・ブレハッチ(ピアノ)		10/4	2005年第15回ショパン国際ピアノコンクールの覇者・ブレハッチによる浜松凱旋公演。浜松公演は2003年第5回浜松国際ピアノコンクール最高位受賞以来、11年ぶり。
Vol.3 ラデク・バボラーク(ホルン) 吉野直子(ハープ)		11/27	元ベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者でもあり、名実共に世界一のホルン奏者ラデク・バボラークと、世界の巨匠と数々の共演を重ね、ハープ界の最前線で活躍している世界的ハープ奏者 吉野直子による豪華共演。
Vol.4 ゲヴァントハウス 弦楽四重奏団		12/5	世界に名を馳せるライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の首席奏者たちによる弦楽四重奏団。1809年の結成以来、脈々と引き継がれてきた伝統の響き、世界最古のクアルテット。
Vol.5 チョ・ソンジン (ピアノ)		1/23	2009年第7回浜松国際ピアノコンクール、そして2015年ショパン国際ピアノコンクールの2大コンクールを制し、今や世界のピアノ界で最も注目されるピアニストの一人となったチョ・ソンジンによるリサイタル。
パレルモ・マッシモ劇場「椿姫」	アクトシティ浜松 大ホール	6/14	パリのオペラ座、ウィーンの国立歌劇場に次いで、ヨーロッパで3番目の大きさを誇る名門オペラ、マッシモ劇場によるオペラ公演。
小川典子& ドレスデン・フィルハーモニー 管弦楽団	アクトシティ浜松 大ホール※	7/5	第10回浜松国際ピアノコンクール開催記念イベントとして、第10回審査委員長の小川典子と俊英ザンデルリンク率いるドレスデン・フィルとの海外オーケストラ公演。 指揮:ミハエル・ザンデルリンク
第12回 はましんファミリーコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	7/23	毎年恒例のファミリー対象公演。 (演奏:浜松交響楽団 提供:浜松信用金庫)
ブラスト! ミュージック・オブ・ディズニー	アクトシティ浜松 大ホール	8/10	ブラス、パーカッション、ヴィジュアル・アンサンブルが魅せる超絶技巧と究極のアンサンブル「ブラスト!」の圧巻のパフォーマンスとディズニー音楽が夢の共演。 共催:テレビ静岡

事業名	会場	開催予定日	内容
野村萬斎監修 アクトシティ能・狂言	アクトシティ浜松 大ホール※	8/27	照明と映像で能・狂言をわかりやすく演出する当財団オリジナルプログラム。平成 26 年に実施した演出をスケールアップ。また本公演をより楽しんでいただくため、平成 28 年度には演者によるレクチャー公演も開催。 主催:浜松市、静岡新聞社・静岡放送
松竹大歌舞伎 (昼/夜 2 回公演)	アクトシティ浜松 大ホール※	9/23	人気役者中村橋之助改め八代目中村芝翫の襲名披露公演となる毎年恒例の松竹大歌舞伎公演。8 月には初心者にも観劇を楽しんでいただくための「歌舞伎プレセミナー」を開催。
TFC55 東儀秀樹×古澤巖×coba	アクトシティ浜松 中ホール	9/29	雅楽師の東儀秀樹、ヴァイオリニストの古澤巖、アコーディオニストのcobaの三楽師が、三人ならではの誘惑魅惑のワクワクサウンドを追究し、誰にも真似できない芸術性豊かな音楽を奏でる最高級ライブ。
辻井伸行& ロンドン・フィルハーモニー 管弦楽団	アクトシティ浜松 大ホール	10/13	ウィーン・フィル、ベルリン・フィルと並び称されるイギリスの名門ロンドン・フィルにピアニスト辻井伸行を迎えて、ラフマニノフ 2 番ほか演奏。 指揮:ウラディーミル・ユロフスキ ピアノ:辻井伸行 共催:静岡朝日テレビ
第 26 回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 大ホール 他	10/14～ 22	ジャズの恒例イベント。学生バンドから世界的ミュージシャンの出演、浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催。 主催:浜松市、ヤマハ、静岡新聞社・静岡放送
ディズニー・オン・クラシック 2017	アクトシティ浜松 大ホール※	12/24	ディズニー映画などから生まれた名曲の数々をオーケストラで演奏。大人から子供まで気軽にオーケストラの演奏を楽しむことができる恒例のコンサート。 共催:K-mix、静岡第一テレビ
シルク・ドゥアラ・シンフォニー	アクトシティ浜松 大ホール※	1/19	全米で年間100回近くの公演がすべて完売続出の大ヒット公演を浜松で開催。フルオーケストラのコンサートとサーカスを融合させたエンタテインメント公演。

※印 大ホール中規模(1・2 階席)で開催

2 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

文化情報誌「HCF News」も引き続き刊行し、地域で活動する文化団体の情報や、若い世代の活動紹介、文化と暮らす生活スタイルの提案ができる情報誌として、市内各所及び全国主要ホールへ配布し情報配信を行います。

また、ホームページを活用し、多くの文化情報の提供をはじめ、市民文化活動の広報を支援するため、イベント紹介などを積極的に行います。

オンラインショップにおいて、利用者の利便性の向上のためスマートフォン及びタブレットからの予約ができるように更新いたします。

(1) アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(2) 広報活動

- ① 財団ホームページの運営（<http://www.hcf.or.jp/>）
 - ・財団の事業及び所管施設を紹介、イベントカレンダー掲載、イベントブログ掲載等
 - ・SNS(facebook等)を活用した情報発信
 - ・浜松市内の文化イベント並びに文化団体の情報を幅広く収集するとともに市民に提供
- ② 情報誌「HCF News」発行
 - ・部数12,000部、年4回(平成29年1月末時点で第23号まで発行)
 - ・財団事業紹介、市内で楽器産業を支える職人、浜松市内の飲食店紹介等
- ③ 平成 28 年度事業活動報告書の発行、配布、活動紹介映像の制作及び web 上での公開
- ④ デジタルサイネージの活用
 - ・アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報
 - ・遠鉄VISIONでの放映
- ⑤ 事業チラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体への掲出
- ⑥ アクトシティ浜松イベントカレンダー等の発行、配布
 - ・部数10,300部、隔月発行
 - ・市内主要文化施設、協働センター、ショップ等へ配布

(3) HCF オンラインショップの運営

チケットのほか、CD・DVD・書籍などをオンラインで販売
アクトシティチケットセンターにチケット販売専用端末を設置
平成 29 年度よりスマートフォン及びタブレット端末からの購入もできるように更新

- 【取扱商品】
- ・市内文化団体自主イベントのチケット、市内施設公演チケット、財団主催公演チケット
 - ・ピアノコンクール、バンド維新等の財団主催事業の関連製品(CD、楽譜)
 - ・浜松市楽器博物館製作の CD・DVD コレクション、グッズ
 - ・浜松文芸館、木下恵介記念館出版書籍

(4) アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

- ① アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- ② 財団のチケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び一般からの受託公演）
- ③ チケットぴあスポットの運営

3 芸術文化活動の支援及び交流の促進

各ジャンルの文化団体による「市民文化フェスティバル」、演劇や人形劇の団体が公演を行う「浜松市芸術祭演劇・人形劇部門」など、地域で活動する団体の方々の交流を深める事業を開催します。

支援事業としては助成金制度であるサポート事業も引き続き行い、金銭面での支援のほか、財団ホームページを活用した情報発信支援、チケット販売促進支援等、総合的な活動支援を行います。

その他、例年通り地域の演奏家の発表の場の提供や活動支援、文化団体への活動協力などを通して、地域の文化が益々発展していくための、支援・協力を行います。

(1) 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第48回日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/19～21	学校及び一般音楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
第15回浜松市民文化フェスティバル	アクトシティ浜松 他市内諸施設	9～12月	地元市民団体や学校による音楽・舞踊公演。連盟や協会所属団体や市民公募による出演枠を設ける。(全11部門)
第63回浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	クリエート浜松 アクトシティ浜松 他	10～1月	市内の劇団による演劇・人形劇の公演。(全8公演)
第60回中部日本吹奏楽コンクール	アクトシティ浜松 大ホール	10/7・8	中部地方の中学校・高等学校生徒による吹奏楽コンクール。 共催:中部日本吹奏楽連盟、中日新聞社
子ども音楽フェスティバル	浜北文化センター	12/10	子ども音楽セミナー受講生の演奏発表の機会を提供。生涯学習音楽指導員との連携により、市内高校生、大学生との共演を行う。
(仮称)ショパンを踊る	アクトシティ浜松 大ホール	12/26	地域の舞踊団と国際的に活動している舞踊家によるバレエの公演。 共催:佐藤典子同門会
サポーターマネジメント	—	通年	財団事業を支援するボランティアスタッフの募集・育成マネジメント。
演奏家派遣事業	市内各所 市内小学校	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。「NPO 法人子どもに音楽を」と「浜松市教育研究会」と共催し、プロの演奏家を小学校に派遣。

(2) はままつ文化サポート事業

地域の芸術文化活動の充実・活性化を目的とした市民のための文化活動支援制度。

『文化力コース』(助成金額上限 30 万)及び『創造力コース』(助成金額上限 10 万)の 2 つのコースがあり、助成金の交付と広報活動、販売促進の支援等を行います。

(3) 浜松市内文化団体・文化協会

① 浜松市文化団体連絡協議会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

② 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに、支援を行います。また、浜松市内文化協会連絡会に加盟する文化協会が実施する文化活動に対し、最大 10 万円を助成します。

4 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

浜松駅前の風物詩であるプロムナードコンサートや全国の優秀な高等学校が出演する吹奏楽大会、青少年育成の音楽団体育成事業であるジュニアオーケストラ・ジュニアクワイアの運営、交流都市間事業など浜松市からの受託、共催事業を継続して実施します。

また、平成30年7月に開催予定のアジア・太平洋吹奏楽指導者協会(APBDA)大会に向けて対象各地域の委員からなる理事会を開催します。

(1) パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	通年 (全4回程度)	アクトシティのパイプオルガンをより多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
パイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8月下旬	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。

(2) まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅前 北口広場 「ギター」他	4～10月	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する無料イベント。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。 協力:浜松市吹奏楽連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅前 北口広場 「ギター」他	5～11月	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する無料イベント。

(3) ジュニアオーケストラ・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松育成事業			
団員募集・定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
太田市(群馬県)交流演奏会	アクトシティ浜松	8月	
第23回定期演奏会		9月	
スプリングコンサート2018		3月	

(4) 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松吹奏楽大会 2018			
第6回全国中学生交流コンサート	アクティシティ浜松 中ホール	3/24	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。ギターでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催。
第30回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクティシティ浜松 大ホール他	3/25	

(5) 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
音楽文化都市交流事業	アクティシティ浜松 中ホール他	9/3 11月他	札幌市との音楽文化都市交流宣言に基づき、人材の交流、国内外への情報発信等を通じて音楽文化を振興。また宝塚市や海外他都市との交流事業も開催。
バークリー音楽大学事業	アクティシティ浜松	2月中旬	バークリー音楽大学教授による公開ジャズクリニックの開催。
ハノーバー市交流事業	アクティシティ浜松 他	8月他	ドイツ・ハノーバー市との音楽文化交流事業。NDR(北ドイツ放送交響楽団)メンバーによるマスタークラスの開催及びハノーバー市の少女合唱団の来日公演を実施。

(6) こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
こども音楽鑑賞教室	アクティシティ浜松 大ホール	2/14・15 全4公演	市内全小学5年生を対象に本物のオーケストラ演奏に触れる機会を提供。

(7) ユネスコ創造都市関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
サウンドデザインフェスティバル in 浜松 2017	アクティシティ浜松 展示イベント ホール	12/7~10	音(サウンド)を中心とした、医療や都市計画、教育など様々な角度や領域へのアプローチについて、事例発表や展示を行う。

(8) アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
■アカデミーコース 世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業			
第23回浜松国際管楽器アカデミー &フェスティバル	アクトシティ浜松	8/1～6	海外演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催。
修了生公演事業	市内小中学校他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。管楽器アカデミー成績優秀者によるコンサートを開催。
■コミュニティコース 市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業			
ジャズクリニック	市内諸施設	9～2月 (全3回)	守屋純子氏(予定)他による市内学校・音楽団体を対象とした指導。
吹奏楽セミナー	浜松科学館 ホール	4/9	保科洋音楽監督を講師に、指導者派遣事業の講師による合同バンドをモデルとして吹奏楽課題曲講習会を開催。
	市内小学校他	全6回程度	市小学校合同バンドを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	ジャズ用、吹奏楽用等に編曲した楽譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	5～3月 (全12回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。事業開催実践セミナー。2/24に受講生の企画によるコンサートを開催。
合唱セミナー	アクトシティ浜松 他	6月・1月 (全2回)	NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲講習会や合唱指導法、発声法などを学ぶ講座を開催。
音楽指導者派遣事業	市内 希望学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	10～12月	生涯学習指導員による小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナーを開催。

(9) 浜松国際ピアノコンクール関連事業

平成30年度に記念となる第10回浜松国際ピアノコンクールを開催するにあたり、平成29年度は実施要項、公式ロゴ、スケジュール等コンクールについて記者発表を行います。また、平成30年2月からは、出場者の募集を開始いたします。記念となる第10回大会への開催前年として、関係各所への協力依頼や国内外及び浜松市内への周知を行ってまいります。

① 第10回浜松国際ピアノコンクール開催事業(開催前年)

■実行委員会・運営委員会等の開催

■コンクールの周知

- ・6月7日 第10回浜松国際ピアノコンクール実施要項の記者発表
 会場：都市センターホテル 701 会議室(東京都千代田区平河町 2-4-1)
 発表者：鈴木康友浜松市長、川村恒明運営委員長、小川典子審査委員長
 内容：浜松国際ピアノコンクールの概要と第10回の実施について
- ・実施要項・募集ポスターの発送、ホームページやチラシでの告知
 国内 音楽大学、高校音楽科、コンクール事務局、在日大使館、オーケストラ、
 音楽専用ホール、市内各所・各音楽教室 他
 海外 音楽大学、審査委員、音楽顧問、コンクール事務局、在外大使館、音楽専用ホール 他
- ・国内外音楽雑誌へ広告を掲載

■出場者募集

- ・平成30年2月1日～4月15日まで、郵送とオンライン申込による出場者の募集を受け付け。

■コンクール開催における広報活動(優勝者ツアー・ホームページ更新)

② 第10回コンクール記念事業の開催

事業名	会場	開催予定日	内容
審査委員長就任記念 小川典子& ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団	アクティシティ浜松 大ホール	7/5	第10回コンクール審査委員長、小川典子氏と俊英ザンデルリンク率いるドイツの名門、ドレスデン・フィルハーモニーとの協演。
アクト・プレミアム・シリーズ Vol.2 ラファウ・ブレハッチ Vol.5 チョ・ソンジン	アクティシティ浜松 中ホール	10/4 1/23	第10回記念事業として、第5回コンクール最高位のラファウ・ブレハッチと第7回コンクール優勝のチョ・ソンジンを迎えるのリサイタル。

(10) アジア・太平洋吹奏楽指導者協会(APBDA)大会準備事業

事業名	会場	開催予定日	内容
アジア・太平洋吹奏楽指導者協会 理事会及び(仮称)開催記念コンサート	アクティシティ浜松	7/22	アジア・オセアニア各地域の吹奏楽指導者協会員からなる理事会を開催。併せて浜松市内の吹奏楽団による記念演奏会も開催。

(11) 浜松版アーツカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松版アーツカウンシル		通年	浜松版アーツカウンシルとしての中間支援組織の設置準備。PD(プログラムディレクター)1名、PO(プログラムオフィサー)1名を外部から登用し、平成30年度から実施する助成事業・自主事業の企画検討を行う。

Ⅱ 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

1 アクトシティ浜松

芸術鑑賞、発表会、講演会をはじめとした様々な文化活動の拠点として、市民の方はもとより、県内最大級のコンベンション機能を備えた施設として、全国からお客様をお迎えするため、ハード・ソフト両面において更なる努力を図ります。

通年で実施しております利用者へのアンケート調査をもとに、お客様からいただいたご意見・ご要望等の分析・検討を継続して行ってまいります。平成29年度は、以前より導入準備を進めておりましたワンストップサービスを開始します。ワンストップサービスでは、これまでお客様に個々に発注・手配いただいていた各種業務を財団が一括して承ることにより、お客様の負担を軽減することで、より高い顧客満足度を目指します。これに伴い、ホームページの見直しを検討してまいります。ご利用者に必要な情報をより的確にかつスムーズに取得いただけるコンテンツを構築し、各種書類、図面のダウンロード及び見積もり作成の機能を搭載したホームページとすることで、ご利用者の利便性向上にも努めてまいります。

お客様対応におきましては、お客様の視点に立った真心をこめたサービスを提供してまいります。単なる施設の貸し出しではなく、催事の成功に向けて、ワンストップサービスの活用や豊富な経験を活かした利用者へのアドバイス、ホームページ・イベントカレンダーなどの広報ツールへの積極的な掲載、チケットセンターでのチケット受託販売などを通して、お客様の文化活動を様々な角度から支援してまいります。また、コンベンションの開催においては、コンベンション専任の担当者を配置し、施設のエキスパートとして運営を全面的にサポートいたします。

コンベンション誘致につきましては、引き続き浜松市、公益財団法人浜松観光コンベンションビューローなど関係諸団体との連携及び情報交換を図り、積極的な誘致活動に取り組みます。コンベンション開催実績の多い地元浜松医科大学や聖隷浜松病院などの医療機関へは継続して営業活動を実施し、参加者数、宿泊数の多い大規模コンベンションを誘致することにより地域の活性化を目指します。

アクトシティ全体の活性化に関する事業については、昨年度同様、活性化事業を進めてまいります。

事業名	開催予定日	内容
アクトシティ活性化事業		
①アクトシティで浜松まつり	5/3～5	浜松まつり期間中、サンクンプラザ他での「世界の屋台」出展。屋上公園ではダンス、歌等のライブパフォーマンスを実施。
②アクト交流会	5月・11月	浜松に赴任してきたアクトシティ関係者を集め、浜松の歴史、地域性、食材などを紹介するとともに、交流を深める。
③子どものためのアクトシティ探検隊	8月	アクトシティの様々な場所を子ども達に探検してもらい、新たな発見と驚きを提供する。 舞台機構の裏側、ホテルの仕事、ヘリポートなど。
④クリスマス関連イベント	12月	イルミネーションや、飲食イベント、ミニコンサートなどクリスマスの雰囲気盛り上げる各種イベントの実施。
⑤その他	通年	大型イベントと連動したイベントや講座、ディスプレイなどの事業を実施し、アクトシティへの誘客を狙う。

2 クリエイト浜松

平成 29 年度も、クリエート浜松ならではの魅力を発信する事業を展開してまいります。

クッキングルームを利用して市内の 50 歳以上を対象とした料理教室や、アトリエを活用して「夏休み親子工作教室」等を開催し、利用者を新規開拓するとともに、クリエート浜松の魅力をPRしてまいります。

平成 24 年度から開催している「Creative Gala」を今年度も引き続き実施し、ふれあい広場の活性化を図るとともにクリエート浜松への新規来館者並びに利用者の増加や賑わいの創出を図ります。

そのほか共催事業として、例年実施して好評を博している「クリエートの夏まつり」「クリエートの冬まつり」を開催し、地元住民をはじめとする市民の皆様気軽に来場していただける施設となるよう努めてまいります。また、事業の開催を支援する「Collabo with！クリエート」を継続実施し、美術、音楽、舞踊、食、文芸などのさまざまな文化活動に参加する人々が企画する、秀逸かつ実現可能で浜松の文化振興に寄与すると思われる事業について、財団が共催となり、広報活動等に協力いたします。

事業名	開催予定日	内容
あ 自主事業		
①クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出。
②ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
③クッキング事業	通年	市内の 50 歳以上を対象とした料理教室
④夏休み親子工作教室	夏休み期間	アトリエを使用して、親子を対象にした工作教室。
い 共催事業		
①Collabo with！クリエート(コラボ・ウイズ)	随時	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に寄与する事業を共催者として支援。
②クリエートの夏まつり	8/27	主に地元住民を対象とした物販や文化イベント。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、 (公財)浜松国際交流協会
③クリエートの冬まつり	1/21・22	主に地元住民を対象とした物販や文化イベント。 共催：市中部協働センター
④第 8 回 はままつグローバルフェア	2/11	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会、(独)国際協力機構中部国際センター
う その他の事業・機能		
①生涯学習情報コーナー事業	通年	生涯学習情報の収集と提供。
②文化情報サロン事業	通年	財団事業の紹介及び文化団体情報の収集と提供。 当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施。
③託児スペースの提供	通年	主催者の要望により児童室を無料提供。

3 浜松市浜北文化センター

浜北区を中心とした文化・生涯学習活動の場として、また、アクティビティ浜松に次ぐ広さのホールを活用した市民文化活動の発信拠点として、市民の皆様が親しんでいただける施設を目指すとともに、鑑賞ニーズに応えたコンサートやワークショップなどを開催してまいります。

平成 29 年度は、毎年好評をいただいている「ゆるやかコンサート」の関連事業として、「お母さんと子どもたちのためのワークショップ」を昨年に続き開催し、子育て世代の交流の機会を提供いたします。また、はまホールからの継続開催事業「市民バンドフェスティバル」につきましては、更に内容の濃いイベントとなるよう施設利用者や市民バンドの皆さんと共に創り上げていきます。

平成 29 年度は 2～3 月の約 1 ヶ月半の期間ホール空調機の改修を予定しており、その期間中は大・小ホールの利用が出来ません。例年この期間にホールご利用のお客様には既にお伝え済みですが、他の施設をご利用くださる方々にも十分な周知を心がけてまいります。また、実質的なホール利用期間の減少に伴い、利用者の方に少しでも多くご利用の機会を提供するため、文化センターの自主事業を 29 年度のみ開催中止または規模を縮小し、一般の利用者の方にホールのご提供を進めていく予定です。

事業名	開催予定日	内容
① 妊婦とお母さんのための「ゆるやかコンサート」シリーズ 春、夏、秋、冬	5/15 ほか 調整中 (年 4 回)	育児中の保護者や妊娠中の方を対象とした、地元で活躍するプロの演奏家によるクラシックコンサート。
② 「ゆるやかコンサート」～民族音楽編	調整中	「ゆるやかコンサート」の特別バージョン。民族音楽など、目で見ても楽しいコンサートを開催する。
③ ゆるやかコンサート関連事業 お母さんと子どもたちのためのワークショップ	調整中	ゆるやかコンサート参加者の親子を対象に、簡単なリズム体操をしながら、親子の交流の場を提供する。
④ 第 9 回浜松市民バンドフェスティバル	1/21	市内で活動する社会人の吹奏楽団が一堂に会し、各団体の個性あふれる演奏を披露する。 共催：浜松市民バンド協議会
⑤ 第 35 回浜北寄席に向けてのワークショップ	調整中	プロの落語家による公演を毎年行っているが、ホール休館に伴い、公演の代わりに、より落語を楽しむためのワークショップを実施する。

4 浜松市天竜壬生ホール

浜松市天竜壬生ホールの指定管理募集に応募、平成 29 年度から 5 年間の運営を受託しました。

北遠地域を中心とした文化・生涯学習の活動拠点として、鑑賞型事業の開催のほか、地元に着目した市民参画事業と文化活動の中間支援に焦点をあてた事業を展開してまいります。

平成 29 年度は、ダンス・ミュージカルワークショップや「天竜楽友吹奏楽団ニューイヤーコンサート」、「遠州和太鼓公演」、「みぶ絵手紙展」等のこれまでも地域住民が参画してきた企画を主催事業として開催することで地域事業の継続性を図るほか、「奥田弦 クラシックジャズピアノ公演」、「妊婦とお母さんのためのゆるやかコンサート in 天竜」、「木下恵介監督作品 DVD 上映会」等の財団所管施設と連携した企画も実施し、財団の総合力を活かした事業を展開します。

また、「天竜区ふれあいコンサート」をはじめ、地域教育機関や地域文化協会との連携を通じたアウトリーチ活動による北遠地域の文化振興を図ります。

事業名	開催予定日	内容
あ 文化振興事業		
① 奥田弦 クラシックジャズピアノ公演	11/4	若干 15 歳のお天才ピアニスト・奥田弦がクラシック曲をジャズにアレンジしたプログラム。アクト・ニューアーティストシリーズとのコラボ企画。
② MIBUニューイヤーコンサート 2018	1/28	天竜楽友吹奏楽団と著名演奏家が協演する市民参加型コンサート。 ゲスト:カール・ヤイトラー
い 芸術普及事業		
① MIBUワークショップ ダンスクラス	通年 (月 2 回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術・文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
② MIBUワークショップ ミュージカルクラス	通年 (月 2 回)	
③ MIBUワークショップ 成果発表公演	12/24	ワークショップ受講生たちによる、オリジナルミュージカル作品と創作ダンスの披露公演。
④ みぶ絵手紙展	年 1 回	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展示会。
⑤ 夏休み 親子向け講座	夏季 (年 1 回)	子どもと保護者が一緒に参加できる手作り体験の学習講座。
⑥ 遠州和太鼓 夏の陣 2017	8/27	地元和太鼓団体と地域学校のコラボによるライブコンサート。
⑦ みぶアーティストコンサート	11/23	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露。
う 自主事業		
① MIBUワンコインコンサート 「岡本拓也クラシックギター・リサイタル」	2/24	一流の演奏を 500 円で聴くアフタヌーンコンサート。クラシックの垣根を下げる気軽な公演。アクトシティと連続 2 日間公演。

事業名	開催予定日	内容
② 松竹大歌舞伎セミナー	調整中	元NHKアナウンサー・古典芸能解説者の葛西聖司氏による歌舞伎講座。アクティティで開催する松竹大歌舞伎公演の見所を解説。
③ 妊婦とお母さんのための「ゆるやかコンサート」 in 天竜	年2回程度(調整中)	小さなお子様と保護者のためのクラシックコンサート。浜北文化センターの好評企画をアウトリーチ。
④ お母さんと赤ちゃんのための「ゆるやかエクササイズ」 in 天竜	調整中	赤ちゃんと保護者を対象とした簡単なリズム体操講座。浜北文化センターで好評企画をアウトリーチ。
⑤ ステージ演奏体験	調整中	コンサートピアノを会館側で準備し、ステージ演奏体験の機会を一般開放。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用できる。ホール空き日を活用。
⑥ 木下恵介監督作品 DVD上映会	調整中	近年、若い世代にも評価が高い浜松出身の木下恵介監督の映画作品のDVD上映会。解説:木下恵介記念館館長
⑦ インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県・音楽系大学の学生を主としたインターンシップの受け入れ。
⑧ チケット受託販売	通年	壬生ホール利用者の開催公演のチケット受託販売。
え 共催事業		
① 天竜区ふれあいコンサート	年2回(調整中)	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。主催:天竜区ふれあいコンサート実行委員会 共催:(株)河合楽器製作所

5 浜松こども館

平成29年度は平成28年度に引き続き、全体目標を「生きる力が輝く浜松こども館」と掲げ、その実現に向けて「遊んで育つ力を意識する」、「地域の中のこども館」、「『また来たい！』と思える環境づくり」を重点目標として事業を展開し、共同体運営の土台作りに努めていきます。

具体的には次の視点に立って実践します。

- 「コナガルプロジェクト(ママボランティアとの協働による子育て世代を対象にした事業)」「ここい〜ら何でも体験し隊(5階貸室を利用した子ども対象の事業)」など、貸室の利用を中心とした事業を「まちなかの活性化を目的とした事業」として位置づけ、ひとつの部署に集約して実施します。
- 子育て支援分野を「託児」と「相談業務」に分け、業務内容を明確にしながらか相互に連携をとって子育て支援を充実させていきます。
- プログラム改善
 - ・「おはなし助産師さん」(旧「プレママ&赤ちゃんのじかん」)
妊婦から赤ちゃん世代の親が相談や情報交換、交流を通して安心した出産や育児に向かっていくためのひろば事業。平成29年度は助産師との交流や専門性を前面に打ち出した事業へと改善していきます。
 - ・日常あそび
「コマ回し」や「竹馬」などこれまでの日常的な遊びに、職員やボランティアの特性を生かした「けん玉」や「皿回し」などの遊びを加え、プログラム枠にとらわれず、「いつでも だれでも」遊ぶことのできる環境をつくっていきます。
 - ・移動あかちゃんタッチケア
新たに西区(和地協働センター)での実施を予定。年間では、浜北区(プレ葉ウォーク浜北:2回)、北区(浜松市教育会館:2回)、西区(雄踏文化センター2回、和地協働センター:2回)で開催し、アウトリーチ事業を通じてこども館のPRを図っていきます。

事業名	開催予定日	内容
あ 日常的事業		
① 放課後こども館	平日の午後	放課後の子どもたちが遊んだり、宿題をしたり、おしゃべりなどができる広場。
② 路地裏あそび	開館中随時	「コマ」「おりがみ」「ドッチビー」など、日常的な遊び空間をスタッフ、ボランティア、来館者が一緒になって創る。
③ ことばあそび	開館中随時	人とかかわりの基となる日本語の美しさや面白さを、川柳など様々な形で伝えたり、表したりして、ことばを通して相互交流のきっかけをつくる。
④ 読み語り・図書	開館中随時	「遊び場」としての特徴を生かした本とのふれあい、出会い、読み聞かせの時間。
⑤ 誕生日のお祝い	開館中随時	誕生日の子どもを祝い、身長・体重の測定、手形をとる等、成長をみんなで喜び合う。
⑥ 自然を感じる	開館中随時	屋上庭園の活用を中心に、花などの栽培を通して、みんなで自然を感じる時間。
い 遊び体験機能事業		
① しょうぎに挑戦 ～初心者から上級者まで～	年 20 回	将棋の講師を招き、子どもから大人までが将棋に触れて交流を深める。
② Let's どうぶつしょうぎ	年 9 回	インストラクターのサポートのもと、シンプルで親しみやすいどうぶつしょうぎを楽しみ、異年齢交流を図る。

事業名	開催予定日	内容
③ ボールプールおそうじ隊	年 12 回	遊び場である「青白ボールプール」の入れ替え作業を、仕事体験の要素を大事にし、来館者とともに実施する。
④ お父さんと遊ぼう	年 6 回	父親だからこそ出来る、親子での運動遊びの時間。父親の育児参加も促進する。
⑤ つながるひろば	年 9 回	芸術全般をテーマにし、見る・聞く・体験するなど様々な要素を織り込んだ参加体験型事業。
⑥ カプラ	開館中随時	「全国カプラ大会」を軸にしなが、多世代が造形素材としてのカプラにじっくりと触れ、遊ぶ。
う ものづくり体験機能事業		
① おりがみあそび	年 18 回	ボランティアが中心となり、おりがみを通して遊びの伝承と異年齢交流を図る。
② ずっしり ペタペタ 土ねんど	年 19 回	土ねんどを使った造形遊び。自由な空間で思い思いの表現をする。
③ HONDA の親子でダンボールクラフト	年 2 回	ものづくりの現場で働く人たちとの交流を通して、親子で本格的なダンボールクラフトに挑戦する。協力:本田技研工業(株)
④ おやつ作り	年 18 回	おやつ作りを通して、調理するおもしろさや、食べる喜びを体験する。
⑤ パン作り	年 16 回	自由に形づくることのできるパンの特徴を生かし、自分の力でオリジナルのパンを作る。
⑥ あまのさんの和食のきほん	年 4 回	地域との協働事業。まちなかのプロの料理人から実践を通して「食のきほん」を学ぶ。
え 子育て支援機能・交流事業		
① いっしょにあそぼ ねんね・ごろんの赤ちゃん	年 14 回	母親が言葉と声にすることの楽しさに気づき、日常の育児に活かせるようにするための学び遊びプログラム。
② いっしょにあそぼ ハイハイ赤ちゃん	年 14 回	
③ いっしょにあそぼ ヨチヨチちゃんと	年 11 回	親子での運動遊びを通して、心身の健全な発達や親子の愛着を促す。
④ いっしょにあそぼ トコトコちゃんと	年 14 回	
⑤ 赤ちゃんタッチケア	年 19 回	助産師の指導のもと、赤ちゃんとのスキンシップの方法を保護者が楽しく学ぶ。
⑥ はじめてのワークショップ	年 11 回	乳幼児が身体全体を使って様々な素材にふれ、自由に表現する。
⑦ 音と遊ぼうリミック	年 28 回	音遊びを通して、自己表現する楽しさと創造力を培う。
⑧ ミュージックコンサート	年 11 回	育児中の方でも気軽に音楽に触れ、乳幼児といっしょに楽しむコンサート。
⑨ マタニティヨーガ	年 14 回	妊婦の方を対象に、安心した出産や育児へとつなげていくため心身の安定を図るヨーガの基礎を体験する。

事業名	開催予定日	内容
⑩ おはなし助産師さん	年9回	助産師を交え、妊婦と乳幼児を持つ母親が気軽に集い、語り合う時間。
⑪ すくすくひろば～みんなで話そう～	年9回	子育てアドバイザーを交え、子育て中の親が気軽に集い、語り合う時間。
⑫ 子育て何でも相談	開館中随時	育児の相談に、職員・専門家が応じる。
お 託児事業		
① 託児事業	開館中随時 (10～17時)	生後6ヵ月～3歳未満の子どもの一時預かり保育。
か アウトリーチ事業		
① 移動こども館 「あかちゃんタッチケア」	年8回	来館の機会が少ない周辺地域でのアウトリーチ事業。浜北区、北区、西区で実施。
② 移動こども館「ど～んと土ねんど」	年3回	約300kgの土ねんどを持って浜松市内の保育園・幼稚園・特別支援学校に出張して行うアウトリーチ事業。対象地域：合併した旧市町村。
き 団体向け事業		
① 団体向けプログラム 「ど～んと土ねんど」	年6回	こども館に来館する団体を対象にした「土ねんど遊び」のプログラム。対象は市内の幼保育園。
く 長期休暇事業		
① 夏休み特別事業	夏季休暇中	「自分の力で遊ぶ」「つながる」「大人も遊び込む」をコンセプトに、テーマに沿った遊びを全館を使って長期間に渡り展開する特別事業。
② 冬休み特別事業	冬季休暇中	
③ 春休み特別事業	春季休暇中	
④ ゴールデンウィーク事業	5月	
け ボランティア活動事業		
① 市民ボランティアの募集、研修、育成	6～10月	中高生、学生、社会人を対象としたボランティアの募集、研修、育成。
② 市民ボランティア活動	開館中随時	研修を受講したボランティアによる事業参画活動。
こ その他の機能事業		
① コナガル	年4回	まちなか活性化を目的にしたママボランティア発の子どもや子育て世代を対象にした企画。
② ここ・い～らなんでも体験し隊	年5回	ここ・い～らの子ども向けプログラムでの活用と、まちなか活性化を目的にした企画。

Ⅲ 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

1 浜松市楽器博物館

開館 23 年目の本年は、これまで蓄積した楽器資料やソフト資料等の整理と、書籍や web による情報発信を重点的に行います。

常設展については、電子楽器を含む国産洋楽器産業の展示の再構築を引き続き行います。また全館の展示レイアウトの再構築について準備作業に取り掛かります。特別展では、江戸明治期の浮世絵を通じて、日本における西洋音楽導入について紹介するほか、当館が世界に誇るコレクションである、「楽器を持った人形」と「楽器が描かれた切手」の展覧会をします。コンサートでは、20 世紀のサウンドの原点とも言える電子楽器オンド・マルトノほか、南米コロンビアの伝統音楽を紹介します。講座・ワークショップでは、ヨーロッパの地域伝統音楽や日本の伝統楽器「一節切」の製作演奏ワークショップを開催します。

外部教育機関や施設とも連携協力してアウトリーチ活動を活発に行い、浜松市のユネスコ創造都市ネットワーク関連事業にも協力し、国際博物館会議 ICOM 等の主催する国際会議にも積極的に参加するなど、日本と世界に浜松市楽器博物館を発信します。

事業名	開催予定日	内容
あ 特別展・企画展・常設展		
① 特別展「耳をすませば浮世絵に、文明開化の音がする」	7/23～8/31	江戸末期から明治にかけて、西洋楽器の演奏を描いた浮世絵を通して、日本の洋楽導入の歴史を紹介。
② 企画展「小さな可愛い世界旅行～人形・切手の楽器たち～」	11/3～1/10	楽器を持った世界の人形と、楽器を描いた世界の切手を紹介。
③ 常設展の運営	通年	楽器展示室、体験室の管理運営。
い ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場		
① 展示室ガイドツアー	毎日曜日	職員によるテーマ別の展示解説ツアー。
② ギャラリートーク	毎日	職員による実演と展示解説。
③ ミュージアムサロン	通年	ゲストや職員による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
④ シリーズ音楽の広場	通年	地域の音楽家や職員による展示室でのミニコンサート。
う 演奏会(レクチャーコンサート)		
① 電子楽器オンド・マルトノ	5/3	演奏:原田節 市橋若菜 ほか全 6 人
② 南米のホローポ	7/6	演奏:シマロン(7 人 コロンビアより来日)
③ アジアの伝統芸能(未確定)	8/22	演奏:ミャンマー、ベトナム、タイの音楽家(来日)
④ 韓国のピナリ(未確定)	10/22	演奏:イ・グァンス(来日)
⑤ フランスの狩猟ホルン(未確定)	11/3	ペリネ狩猟ホルン合奏団(来日)
え 講座・ワークショップ		
① 小学生ワークショップ「一節切づくり」	8/26	講師:相良保之(一節切研究家)
② 特別展講座「音の錦絵」	8/4	講師:澤崎眞彦(東京学芸大学名誉教授)

事業名	開催予定日	内容
③ 講座「楽器の中の聖と俗」	12/4・18 1/15・29	講師：西岡信雄(楽器博物館名誉館長、大阪音楽大学名誉教授)
お 市内小学校移動博物館		
① 富塚小学校	6/12～16	市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民への解放も含む。
② 城北小学校	9/11～14	
③ 舞阪小学校	9/25～29	
④ 上阿多古小学校	11/1・2	
⑤ 瑞穂小学校	1/22～26	
か 楽器整理・調査・情報発信		
① 常設展整備	通年	展示再構築。
② 音楽文化・芸能調査	通年	森町舞楽の映像保存、調査。
③ CD・図録等の制作	通年	総合案内図録(販売用)ほか。
④ 所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。
⑤ 広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年 8 回程度。市内小中学校・公共施設等に配布。
⑥ 公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。
⑦ 国際会議への参加と発表	6 月 (未確定)	ハンガリー(楽器博物館コンファランス)
き 他博物館・教育研究機関等との連携		
① 茨城大学との共同研究	通年	学校教育用邦楽器映像教材の制作(大学文科省科研費)。
② 静岡県埋蔵文化財センター共同展示	通年	楽器博物館常設展における県内遺跡出土楽器の特別展示。
③ 月見の里学遊館との民族音楽講座(未確定)	8 月	袋井市立月見の里学遊館とのガムラン・ワヤン・ダンス講座。
く 研修受け入れ		
① 学芸員実習	8 月	全国の大学より公募選考して受け入れ。5 人程度予定。
② インターンシップ実習	通年	市内や静岡県内外の大学生を中心に受け入れ。
③ 教職員研修	通年	浜松市の教職員の研修受け入れ。
④ 中学生職場体験学習	通年	浜松市の中学生の職場体験受け入れ。
⑤ 中学校との共同授業	下半期	世界の楽器を通しての国際理解教育。

2 浜松科学館

子どもを中心としながらも、時間をかけて親子でじっくりと工作や実験に向き合う講座、優れた学者・研究者の話から、科学技術研究に取り組む姿勢や意識を学ぶ講演会、科学の進歩を見つめなおす比較展示の実施など、次のステップへと「つなぐ」ことを意識し、施設のさらなる活性化を目指してまいります。

また、地元企業、大学・高校や各種団体とは、それぞれの得意分野を核にした協働事業を引き続き展開し、館内にはない資源を取り入れ、科学コンテンツの提供に対して更なる充実を図ります。

夏休みの恒例イベントである特別展では、深海の世界について学んだり触れたりする機会を提供する展示会を開催してまいります。

そのほか、ナイトプラネタリウムやプラネタリウム&コンサート等大人向けの企画も引き続き実施し、大人にとっても楽しめる科学館の演出に取り組めます。

事業名	開催予定日	内容
あ 子ども事業		
① 科学館オリジナル講座	5～2月	小学校中学年から中学生までを対象とした観察・実験・工作を行う講座。
② 第9期浜松サイエンスアドベンチャー事業	通年	ものづくりの街浜松をささえる企業の見学や、技術者から話を聞く機会を提供。
ロボット講座事業		
③ 第17回 リモコンマシン・アイデアバトル	5～3月	有線式リモコンマシンを競技会用にチューニング。基本的な回路を理解し、操縦の楽しさを味わう講座。
④ 第17回 ロボカップジュニア	9～11月	自律運動型ロボットのプログラム学習。本講座で優秀な成績を収めたものは東海大会への進出権を得る。
館内特別イベント		
⑤ つくり隊！あそび隊！！	祝日開催	身近にある材料を利用して科学工作を楽しむ。
⑥ 試してみよう！	祝日開催	簡単におこなえる科学実験を楽しむイベント。
⑦ 浜松科学館探検ツアー	年2回	館内クイズラリー・裏側探検など家族で楽しめるイベント。
⑧ スペシャル☆サイエンスショー	年1回	サイエンスショーより内容・時間を拡大し開催。
館内定期イベント		
⑨ サイエンスショー	原則第1・2・5週の日	科学を身近に感じてもらう実験ショー。
⑩ ミクロ観察	原則第3・4週の土日	肉眼では見えない小さなものを光学顕微鏡で観察。
⑪ ミニ実験		身近な材料・道具を使った実験を紹介。
い 親子参加事業		
① 親と子のかがく講座	通年 (年数回)	大人にも手ごたえのある講座を中心に、親子で一緒に取り組む講座として設定。

事業名	開催予定日	内容
② ときめきら星空・宇宙講座	年2回	プラネタリウムを活用し、宇宙・天文またそこで培われている技術などについて学ぶ講座。
う 大人参加事業		
① 大人のための科学講座	年数回	大人を対象とした科学講座。
え 特別展・常設展運営事業		
① 特別展 「深海アドベンチャー」(仮称)	7/15～8/27	深海の世界について、学んだり触れたりする機会を提供する展示会として開催。
② 常設展の運営	通年	力・音・光・自然・宇宙・エレクトロニクスのテーマ別にわけた参加体験型の展示。
お プラネタリウム事業		
一般投影		
① 浜松科学館 制作番組	通年	職員制作プログラム。全編生解説で投影。
② 一般番組	通年	既製番組と職員による星空解説のセット投影。
③ 団体向け投影	通年	学校の理科学習とリンクした学習投影。
④ ナイト・プラネ	通年	仕事帰りの大人を対象として、金曜日 19:00 から行う夜間投影。
⑤ Twilight Planetarium	8月の土曜日	夕方から実施する大人向けのプラネタリウム番組。
⑥ プラネタリウム&コンサート	年数回	生演奏とプラネタリウムの生解説によるライブ。
か 共催事業		
① おもしろエンジン実験室 ～電動アシスト自転車の秘密～	5/20	電動アシストについての講義と体験。 共催:ヤマハ発動機(株)
② 第20回 リフレッシュ理科教室	6/10	最先端科学の研究者が講師となり、科学のおもしろさを伝える。 共催:(公社)応用物理学会東海支部
③ 手作りカート組立教室	6/17	手作りカートを組み立て、それを実際に運転する。 共催:本田技研工業(株)浜松製作所、CSN 浜松
④ 手作りギターをつかって演奏しよう!	6/24	身近な素材を使った楽器製作を通して、音の科学について理解を深める。 共催:CSN 浜松、ヤマハ(株)
⑤ 第13回どきどき科学探究教室	7/1	生物・地学・物理等、大学教員から直接指導を受け、科学へのあこがれを持たせ、研究の視野を広げる。 共催:(公財)山崎自然科学教育振興会

事業名	開催予定日	内容
⑥ 親子電波教室	9/16	AM ラジオの制作を通して電波利用について理解を深める。 共催: 静岡県電波適正利用推進員協議会
⑦ ボートふしぎ発見教室	9/24	船についての講義と、身近な素材を使った船の製作。早く進む船の形を考え、試す。 共催: ヤマハ発動機(株)
⑧ 第22回 おや!なぜ?横丁	12/16・17	ものづくりの街浜松を代表する多くの企業、大学・高校・ジュニアボランティア等による体験イベント。
⑨ 見えない放射線を見てみよう!	年2回	簡単なキットを用いた放射線の観察。 共催: 静岡エネルギー・環境懇談会
⑩ グリーンサイエンスカフェ	年2回	静岡大学グリーン科学技術研究所の教員が、個々の研究を紹介する。 共催: 静岡大学工学部
き 学校・地域連携事業		
① 出張授業 ゴーゴーおもしろサイエンス	年間15校程度	市内の小学校に出掛け、「サイエンスショー」を実演。
く 相談事業		
① 理科自由研究の相談	7/29・30 8/5・6	研究の進め方・まとめ方、実験・観察方法等の指導・助言。協力: 浜松市教育研究会理科研究部
② 発明くふうの相談	8/5・6	発明研究グループが、子どもたちの発明作品の指導・助言をする。協力: 浜松発明研究会
け 作品展・表彰式		
① 第28回発明とアイデア展	4/15・16	研究会会員のアイデア・発明作品を展示。 共催: 浜松発明研究会
② 浜松市小・中学生理科自由研究作品展及び櫻場賞授与式・理科自由研究発表会	9月 11/3	市内の小・中学生の理科自由研究の優秀作品を展示し、優れた作品を顕彰。うち数名が研究発表を行う。 共催: 浜松市教育研究会理科研究部
③ 第39回浜松市小・中学生発明くふう優秀作品展及び優秀作品表彰式	9/17～10/1 11/3	浜松市内の小・中学生の発明くふうの優秀作品を展示し、顕彰する。共催: 浜松経済クラブ
④ ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展	2月	浜松市内の児童から募集した宇宙の絵の展示。 共催: 浜松市天文台
こ ボランティア育成事業		
① ボランティア研修会	年1回	ボランティアの活動内容説明や、接客・実技研修。
② ボランティア連絡会	年数回	実施事業や事業計画について確認。
③ ボランティア自主企画イベント	8/19・20	ボランティアの自主的な活動を通じて、心豊かで創造性あふれる青少年の育成を図る。

事業名	開催予定日	内容
さ 研修事業		
① プラネタリウム活用推進研修	5/20	教職員を対象に、プラネタリウムを活用した校外授業の場として、自身による星空解説を推進するための研修。
② 博物館学芸員実習	8月	大学生の学芸員実習への協力。接客業務、展示研究の検証、イベントパフォーマンスを行う。
③ インターンシップ実習	8月	大学生のインターンシップ実習への協力。接客業務、展示研究の検証、イベントパフォーマンスを行う。
④ 教職者社会体験研修	8月	教職員を対象に、社会教育施設での研修の場を提供。接客マナー等を体験する。
⑤ 職場体験学習	通年	接客業務のほか、展示物を学び展示解説のポスター作成の広報体験を行う。
し その他		
① 広報誌「はままつ科学館通信」の発行	年4回	講座・イベント事業・プラネタリウム投影番組の案内等ソフト事業情報を掲載。
② 「浜松科学館メールマガジン」の発信	月1回	講座・イベント情報等をメール会員宛(約700人)に配信。

3 浜松文芸館

平成 29 年度は、文芸を通して「先人の感性にふれ、今日の浜松を見つめ、未来の浜松を語る」という本館の使命をより充実させるために、展覧会・講座・講演会の見直しを進め、『人と人をつなぐ浜松文芸館』を目指します。

展覧会では、平成 28 年度好評を博した直虎展の視点を変えて、二つの企画展「井伊家と遠州の城砦」「版画と文でつづる井伊直虎公物語」を開催します。観覧者の増加を狙うと共に、浜松への関心・理解を深める場にしてまいります。また、二つの収蔵展の開催を計画しています。一つは俳句の街浜松を代表する「原田濱人・喬・あきゑ」の親子特別展です。そして、藤枝静男の生誕 110 年を記念して、平成 29 年度末にご遺族の協力を仰ぎながら特別収蔵展を開催する予定です。先駆者の業績を紹介しながら文芸発展への起爆剤になるよう、展示には創意工夫をしたいと考えます。

浜松市民の文芸文化を広げていく事業では、市民のニーズに応えるべく講演会と講座について増減を図りました。かねてから強い要望がありました歴史と文学に関する講演会と講座、現代文学、古典和歌に関する講座を新たに増設し、人気の高かった文学散歩を復活させるなど、質と量のバランスを考えて講演会や講座を設置しました。

教育関係との連携では、積極的に学校現場等に出向き、宣伝はもとより体験実習を実施し、若者を文芸の世界に取り込む事業を展開します。受け身の浜松文芸館ではなく、発信していく文芸館でありたいと考えます。

「浜松市民文芸」の発刊にあたっては、講座との連携を図る中で応募者数の拡大を目指し、一層質の高い文芸誌の作成に尽力します。

事業名	開催予定日	内容
あ 展覧会		
① 企画展 「井伊家と遠州の城砦—直虎公ゆかりの地や人を訪ねて—」	4/1～6/25	小林佳弘の文と、大須賀義明の絵で井伊家ゆかりの城砦を展示、紹介。
② 企画展 「版画と文でつづる井伊直虎公の物語」	7/2～9/3	井伊直虎の物語を熊谷光夫の版画で展示、紹介。
③ 特別収蔵展 I	日程調整中	原田濱人・喬・あきゑの三人の俳句を展示、紹介。
④ 特別収蔵展 II	日程調整中	藤枝静男生誕110年を記念して、作品を展示、紹介。
い 講座		
① 俳句入門講座	前期・後期 各 5 回	俳句づくりの知識・技能と鑑賞法を学ぶ。 (初心者向け) 前期:6～7月、後期:9～10月
② 短歌入門講座	年 5 回	短歌づくりの知識・技能を学ぶ。(初心者向け)
③ 文学講座	春・秋各 6 回	「雨月物語」を読解する。
④ 文学と歴史講座	年 5 回	文学を時代の流れと共に読み解く。
⑤ 文章教室 I・II・III	各 4 回	随筆や自分史の書き方を学ぶ。
⑥ 川柳入門講座	年 5 回	川柳づくりの知識・技能を学ぶ。(初心者向け)
⑦ 朗読教室	年 6 回	詩・文学の名作を音読で親しむ。
⑧ 現代文学講座 I・II	各 5 回	現代文学作家の作品を通して、家族の在り方について考える。
⑨ 歴史と文学講座	年 6 回	太平洋戦争までの日本が歩んだ道を学ぶ。

事業名	開催予定日	内容
⑩ 文学散歩	11/9 事前講座 11/16 現地見学	晩秋の新居・雄踏を訪ね、歴史や文学にふれる。
⑪ 古典和歌講座	年6回	古今和歌集に親しむ。
う イベント		
① 朗読会「夏目漱石を読む」	年1回	朗読を通して、夏目漱石の作品を味わう。
② 宮沢賢治を読む会	年1回	朗読を通して、宮沢賢治の作品を味わう。
え 講演会		
① 和久田雅之氏講演会「井上靖と浜松」	年1回	大学講師、和久田雅之氏の講演会。
② 歴史と文学探訪 「歴史の本は何故面白い」	年1回	元公立高校校長、金原増吉氏の講演会。
お 子ども向け事業		
① 夏休み絵本づくり講座	年1回(夏期)	「ばあ」ととびだす、おもしろ絵本を作成。
か 浜松市民文芸事業		
① 第63集の作品募集・選考	9～12月	小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考し、優秀作品を「浜松市民文芸」として編集・発行する。
② 第63集の編集・発行	12～3月	
③ 第63集の掲載作品の表彰	3月	
④ 販売・電子出版(過去の発行誌を含む)	通年	
き 資料の調査研究・保存・整理		
① 資料収集・研究・整理事業	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等。
く 教育機関との連携		
① 入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
② フィールドワーク・職場体験学習	通年	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高校生の体験学習の受け入れと実習の実施。
け その他事業		
① 文芸館広報誌 「いざない 浜松文学紀行」発行	月1回程度	文芸館の各講座や、浜松と関係のある文人、文学を順次紹介する。
② 浜松市文化振興財団自主出版 「風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ」販売	通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売(500円/冊)。
③ 「裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡」販売	通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売(2,000円/冊)。
④ 出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書・地元発行「遠州文学散歩」の出版物や、やらまいかブランド「遠州綿紬」、地元額縁店「ミニフォトフレーム」等の委託販売。

4 浜松市旧浜松銀行協会

浜松市旧浜松銀行協会の建物に、郷土浜松市伝馬町出身の映画監督木下恵介と天王町出身の建築家中村與資平の偉業を顕彰する施設が開設して、8年目を迎えます。この建物は、昭和5年(1930年)に建設され、現在歴史的建造物として浜松市有形文化財に指定されており、その保護と活用が期待されています。平成29年度は中村與資平と旧浜松銀行協会について広く市民に告知する機会を設けます。

天才監督と称された木下恵介の業績や功労を広く紹介するための事業を、館内外を問わず積極的に実施し、ポスター・パンフレット及び「栄町だより」の発行等を通じ、木下恵介監督の顕彰と事業案内の周知に努めます。

市民参加による事業運営を図るため、「けいすけクラブ」等の既存組織はもとより、より広い各関連機関・団体との協働・協力関係づくりに努めます。

事業名	開催予定日	内容
あ 展示事業		
① 平常展Ⅰ 「木下映画作品の系譜を辿って」	前期6～9月 中期10～1月 後期2～5月	木下恵介の監督としての足跡を、写真やポスター・台本等上映予定作品も織り交ぜながら紹介。また、木下監督の映像「天才と呼ばれたオトコ」の視聴コーナーを常設。また、観覧者が興味をもって展示を見学できるようクイズ(大人用・子供用)を実施。正解者には当館オリジナルポストカードを進呈。
② 平常展Ⅱ 「旧浜松銀行協会と中村與資平」	通年	旧浜松銀行協会設計士の中村與資平関連資料を展示する。
い 企画事業		
① 木下恵介作品 月例上映会	月1回	毎月第3日曜日に2階アートホールで木下恵介映画作品を上映(2回上映/日)。参加者には「映画鑑賞カード」を発行しスタンプを押印。全作品鑑賞完了者には『修了証』を発行する。
② 木下忠司101歳記念特別企画	10/29	木下忠司が作曲した映画音楽を、浜松在住の演奏家の室内コンサートで楽しむ。
③ 「建築家中村與資平&旧浜松銀行協会」セミナー+館内説明	6/4 11/26	建築家中村與資平&文化財「旧浜松銀行協会」のレクチャーと館内案内による体験型セミナーを実施する。
④ 中学生向け特別上映会	8/6・9	広島、長崎に原爆が投下された日に、中学生向けに原爆投下を題材とした映画「この子を残して」を上映する。
⑤ 木下恵介生誕日(12/5)特別上映会	12/3	木下恵介の誕生日を記念し、月例上映会では上映しない長編の関連作品を特別に上映する。
⑥ 木下恵介作品 出張上映会	年6回程度	市民の木下作品に触れる機会拡大のため、市内協働センターや老人福祉センター等に出向いての映画鑑賞会。
⑦ けいすけクラブの運営・催事	年2回程度	講座や作品鑑賞、座談会等を通じて木下恵介監督及びその作品への理解と会員相互の交流を深める。
⑧ 栄町映画倶楽部の運営・催事	年10回程度	市民映画愛好家が、ジャンルを問わず映画について語り合い、交流を深める。
⑨ 木下恵介作品 DVD 視聴	通年	第1展示室内視聴ブースにおいて、木下恵介映画28作品のDVD個人鑑賞が随時可能。

事業名	開催予定日	内 容
う 木下恵介ゆかりの資料の調査研究・保存整理		
① 関連資料及び寄贈物品の収集・調査研究・保存整理	通年	木下恵介の浜松地域における活動記録収集等の資料調査や寄贈物品の受付・整理等。
② 木下恵介関連機関等との調整	通年	木下恵介に関連する映画関係者(木下組)・著作権者・遺族及び関連文化施設とのネットワーク構築。
え 建築家・中村與資平及び施設の調査研究・保存整理		
① 関連資料及び寄贈物品の収集・調査研究・保存整理	通年	中村與資平や建物に関する資料の収集、調査研究、保存整理。
お その他事業		
① 「栄町だより」の発行	年2回程度	旧浜松銀行協会や木下恵介記念館の施設・事業をPRする広報誌の発行。
② 自主出版 「KEISUKE～木下恵介記念館～」 販売	通年	木下作品有識者7人の特別随筆に加え木下監督49作品の解説ほか、撮影風景や貴重な写真と情報を掲載。
③ 館内花の展示装飾	随時	玄関ロビーにて、企画事業やシーズンプロモーション時に、旧浜松銀行協会の雰囲気合った花を展示装飾。

平成29年度 収支予算

【予算の概要】

(1) 基本方針

■基金の活用

事業基金については12,909千円を取り崩し、文化サポート事業、演劇・人形劇フェスティバル等の事業費用に充当します。広域文化基金については、8,832千円を取り崩し、浜松市天竜壬生ホール及び浜松市浜北文化センターにおける自主事業の実施、学校への演奏家派遣事業ほか3事業に充当します。

この結果、平成29年度末の残高は、事業基金約1億7,024万円、広域文化基金約1,977万円を予定しています。

■収支相償

各所管施設においては個別に浜松市と指定管理者協定が締結されていることを踏まえ、事業活動の原則として単体での収支相償となる運営を目指しておりますが、一部施設においては人員配置上等から赤字が見込まれているため、公益目的事業収支の全体での均衡を図ってまいります。

(2) 収支の状況

■財産運用益の低下

マイナス金利の導入により長期金利が著しく低下しており、財産運用益は前年度比1,714千円減の9,066千円を見込んでいます。法人会計については管理経費の削減により赤字の解消に努めておりますが、基本財産運用益の50%を財源としているため収益が減となり、本年度は1,817千円の赤字となる見通しです。

■指定管理施設の増加に伴う影響

本年度より、浜松市天竜壬生ホールが新たに加わり、指定管理施設は全部で9施設となります。このことにより、受取指定管理料は前年度比23,580千円増の1,286,164千円となります。

また、浜松市天竜壬生ホールの増加及びアクティシティ浜松における浜松市主催事業等の減少に伴う外部利用の増加により、施設利用料金収益は前年度比28,358千円の増収を見込んでいます。

■当期経常増減額

本年度の経常増減額は、0円で予定しています。ただし、25周年記念事業の開催及び大型公演事業の実施に係る財源を確保するため、年度を通じて収益増と経費削減を進め、黒字に向けた取り組みを進めて参ります。

収支予算書(損益ベース)

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	7,930	9,400	△ 1,470
基本財産運用益計	7,930	9,400	△ 1,470
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,136	1,380	△ 244
特定資産運用益計	1,136	1,380	△ 244
③ 事業収益			
入場料収益	135,823	138,373	△ 2,550
チケット手数料収益	4,747	5,000	△ 253
イベント関連収益	15,277	12,937	2,340
協賛金・共催事業収益	24,654	32,477	△ 7,823
受取会費	11,602	11,702	△ 100
広告料収益	1,420	2,195	△ 775
使用料収益	1,045	1,195	△ 150
手数料収益	15,726	15,406	320
図書販売収益	130	150	△ 20
売上収益	8,799	9,727	△ 928
施設利用料金収益	717,839	689,481	28,358
観覧料収益	68,440	70,710	△ 2,270
事業収益計	1,005,502	989,353	16,149
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,286,164	1,262,584	23,580
受取市補償金	6,404	4,000	2,404
受取消費税交付金	3,000	0	3,000
受取指定管理料等計	1,295,568	1,266,584	28,984
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	96,697	74,208	22,489
受取受託金計	96,697	74,208	22,489
⑥ 受取負担金			
受取事業市負担金	112,708	282,655	△ 169,947
受取負担金計	112,708	282,655	△ 169,947
⑦ 受取寄付金			
受取寄付金	1,000	1,000	0
受取宮川資金振替額	10,000	0	10,000
受取事業基金振替額	12,909	43,384	△ 30,475
受取寄付金計	23,909	44,384	△ 20,475
⑧ 雑収益			
受取利息	50	140	△ 90
雑収益	865	724	141
雑収益計	915	864	51
経常収益計	2,544,365	2,668,828	△ 124,463

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,623	6,140	△ 2,517
給料手当	372,038	354,987	17,051
臨時雇賃金	41,192	34,041	7,151
退職給付費用	11,793	15,199	△ 3,406
福利厚生費	65,895	59,856	6,039
交際費	221	236	△ 15
会議費	755	260	495
懇談会費	4,589	8,550	△ 3,961
旅費交通費	40,110	117,079	△ 76,969
通信運搬費	13,555	13,017	538
減価償却費	13,272	16,755	△ 3,483
消耗什器備品費	3,880	4,349	△ 469
消耗品費	36,914	41,822	△ 4,908
修繕費	35,071	28,055	7,016
印刷製本費	40,284	44,178	△ 3,894
燃料費	876	480	396
光熱水料費	86,907	81,101	5,806
使用料賃借料	53,418	41,257	12,161
保険料	4,108	4,256	△ 148
諸謝金	60,785	75,750	△ 14,965
租税公課	41,972	39,127	2,845
支払負担金	795,604	801,062	△ 5,458
支払助成金	8,700	9,226	△ 526
委託費	712,925	757,698	△ 44,773
手数料	10,060	13,802	△ 3,742
広告料	22,496	29,279	△ 6,783
商品仕入	2,611	2,634	△ 23
支払利息	340	478	△ 138
事業費計	2,483,994	2,600,674	△ 116,680
② 管理費			
役員報酬	2,415	4,092	△ 1,677
給料手当	35,158	46,979	△ 11,821
退職給付費用	1,724	3,198	△ 1,474
福利厚生費	6,304	8,271	△ 1,967
交際費	101	101	0
旅費交通費	410	410	0
通信運搬費	400	465	△ 65
減価償却費	715	715	0
消耗品費	250	250	0
印刷製本費	108	108	0
使用料賃借料	1,080	1,080	0
保険料	400	400	0
諸謝金	76	76	0
租税公課	554	1,021	△ 467
支払負担金	480	500	△ 20

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
委託費	10,000	10,273	△ 273
手数料	180	216	△ 36
支払利息	16	23	△ 7
管理費計	60,371	78,178	△ 17,807
経常費用計	2,544,365	2,678,852	△ 134,487
当期経常増減額	0	△ 10,024	10,024
当期一般正味財産増減額	0	△ 10,024	10,024
一般正味財産期首残額	2,921,459	2,914,162	7,297
一般正味財産期末残額	2,921,459	2,904,138	17,321
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	46	228	△ 182
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 22,955	△ 43,612	20,657
当期指定正味財産増減額	△ 22,909	△ 43,384	20,475
指定正味財産期首残高	193,144	183,144	10,000
指定正味財産期末残高	170,235	139,760	30,475
III 正味財産期末残高	3,091,694	3,043,898	47,796

(注) 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書(損益ベース)

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	3,965	0	3,965	0	7,930
基本財産運用益計	3,965	0	3,965	0	7,930
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	88	1	1,047	0	1,136
特定資産運用益計	88	1	1,047	0	1,136
③ 事業収益					
入場料収益	135,823	0	0	0	135,823
チケット手数料収益	4,747	0	0	0	4,747
イベント関連収益	15,277	0	0	0	15,277
協賛金・共催事業収益	24,654	0	0	0	24,654
受取会費	11,602	0	0	0	11,602
広告料収益	1,417	3	0	0	1,420
使用料収益	1,043	2	0	0	1,045
手数料収益	15,546	180	0	0	15,726
図書販売収益	130	0	0	0	130
売上収益	8,799	0	0	0	8,799
施設利用料金収益	705,250	13,424	0	835	717,839
観覧料収益	68,440	0	0	0	68,440
事業収益計	992,728	13,609	0	835	1,005,502
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,216,207	15,630	54,327	0	1,286,164
受取市補償金	6,316	88	0	0	6,404
受取消費税交付金	2,934	66	0	0	3,000
受取指定管理料等計	1,225,457	15,784	54,327	0	1,295,568
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	96,697	0	0	0	96,697
受取受託金計	96,697	0	0	0	96,697
⑥ 受取負担金					
受取事業市負担金	112,708	0	0	0	112,708
受取負担金計	112,708	0	0	0	112,708
⑦ 受取寄付金					
受取寄付金	1,000	0	0	0	1,000
受取宮川資産振替額	10,000	0	0	0	10,000
受取事業基金振替額	12,909	0	0	0	12,909
受取寄付金計	23,909	0	0	0	23,909

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
⑧ 雑収益					
受取利息	0	0	50	0	50
雑収益	855	10	0	0	865
雑収益計	855	10	50	0	915
經常収益計	2,456,407	29,404	59,389	835	2,544,365
(2) 經常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,596	27	0	0	3,623
給料手当	370,236	1,802	0	0	372,038
臨時雇賃金	40,998	194	0	0	41,192
退職給付費用	11,747	46	0	0	11,793
福利厚生費	65,575	320	0	0	65,895
交際費	221	0	0	0	221
会議費	755	0	0	0	755
懇談会費	4,589	0	0	0	4,589
旅費交通費	40,103	7	0	0	40,110
通信運搬費	13,471	84	0	0	13,555
減価償却費	12,994	278	0	0	13,272
消耗什器備品費	3,856	24	0	0	3,880
消耗品費	36,639	275	0	0	36,914
修繕費	34,833	238	0	0	35,071
印刷製本費	40,243	41	0	0	40,284
燃料費	871	5	0	0	876
光熱水料費	86,903	4	0	0	86,907
使用料賃借料	53,238	180	0	0	53,418
保険料	4,074	34	0	0	4,108
諸謝金	60,764	21	0	0	60,785
租税公課	41,576	396	0	0	41,972
支払負担金	778,693	16,911	0	0	795,604
支払助成金	8,700	0	0	0	8,700
委託費	704,891	8,034	0	0	712,925
手数料	10,007	53	0	0	10,060
広告料	22,490	6	0	0	22,496
商品仕入	2,611	0	0	0	2,611
支払利息	333	7	0	0	340
事業費計	2,455,007	28,987	0	0	2,483,994
② 管理費					
役員報酬	0	0	2,415	0	2,415
給料手当	0	0	35,158	0	35,158
退職給付費用	0	0	1,724	0	1,724
福利厚生費	0	0	6,304	0	6,304
交際費	0	0	101	0	101
旅費交通費	0	0	410	0	410

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
通信運搬費	0	0	400	0	400
減価償却費	0	0	715	0	715
消耗品費	0	0	250	0	250
印刷製本費	0	0	108	0	108
使用料賃借料	0	0	1,915	835	1,080
保険料	0	0	400	0	400
諸謝金	0	0	76	0	76
租税公課	0	0	554	0	554
支払負担金	0	0	480	0	480
委託費	0	0	10,000	0	10,000
手数料	0	0	180	0	180
支払利息	0	0	16	0	16
管理費計	0	0	61,206	835	60,371
経常費用計	2,455,007	28,987	61,206	835	2,544,365
当期経常増減額	1,400	417	△ 1,817	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,400	417	△ 1,817	0	0
一般正味財産期首残額	1,351,752	64,833	1,504,874	0	2,921,459
一般正味財産期末残額	1,353,152	65,250	1,503,057	0	2,921,459
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	46	0	0	0	46
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 22,955	0	0	0	△ 22,955
当期指定正味財産増減額	△ 22,909	0	0	0	△ 22,909
指定正味財産期首残高	193,144	0	0	0	193,144
指定正味財産期末残高	170,235	0	0	0	170,235
III 正味財産期末残高	1,523,387	65,250	1,503,057	0	3,091,694

資金調達及び設備投資の見込みについて

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込について

当期中における重要な設備投資（除去または売却を含む。）の予定はありません。